

水土里レポート 投稿様式

投稿月日	平成28年1月8日
タイトル	給食で「くわい」を食べてテレビに出るよ！
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

平成27年12月18日（金）福山市の広報番組「ハッケンふくやま」が、福山市の小中学校給食について番組を制作するため福山市立新涯小学校に撮影に来られたので取材しました。

撮影当日の給食は「くわいごはん」で新涯小学校5年生は、くわい栽培の農業体験に取り組まれているため5年生を対象に撮影がおこなわれました。

まずは、配膳の様子をテレビカメラで撮影しました。至近距離からカメラで撮影され、緊張しながらもちゃんと配膳をしていました。



続いて、5年3組で糸永アナウンサーと一緒に給食を食べるところを撮影しました。子ども達は緊張した様子でしたが、話をしながら食べているうちに少しずつ慣れてきたようで、笑顔もみせてくれました。

福山市の小中学校で給食メニューから一番人気のあるものを子ども達が声を揃えて言うところでは、カメラに映らない子を移動させたり、声が上手く揃わなかったり、給食の時に放送している校内放送が流れて、何度も撮り直しました。撮影は、細かなカメラ割やチャイムなどの音で撮影が中断し、長時間になりました。子ども達は、給食を目の前にして撮影のためにお預けになったり、次の撮影のために急いで給食を食べたりしていました。

子ども達は緊張していましたが、めったにできない経験で、きっといい思い出になると思います。



子ども達に好きな給食を聞いたら「くわいごはん」と答えました。糸永アナウンサーは福山市出身で「くわいはお節料理につかう贅沢品なんよ。給食で食べられるなんて福山市だけだよ。」と言っておられました。子ども達が、農業体験を通じて「くわい」を好きになってくれたんだなと思い、とても嬉しかったです。

続いて図書室へ移動し、平成28年1月25日から29日にかけて開催される「第23回福山市学校給食週間」について説明される様子が撮影されました。

学校給食の意義、役割等について関心を高め、より一層の充実発展を図るため毎年1月24日から1月30日までの1週間で全国学校給食週間としておられ、福山市では「心と体を育てる学校給食 ～知りたいな、食べたいな、未来へつなぐ学校給食～」をテーマに学校給食についてのパネル展や給食試食会が開催されるそうです。

パネル展では、人気メニューランキングや子ども料理教室、地産地消などについて展示されるそうで、給食試食会では実際の給食メニューを試食することができるそうです。いつも子ども達が食べている給食を試食して、家庭での味付けなどの参考にするいい機会だと思いました。



福山市の学校給食では「地産地消」を実践しておられ、「地域の恵み」として水土里ネット福山の組合員が栽培した野菜等も給食の食材として納入されております。

水土里ネット福山は、子ども達に安心・安全な食材を提供できるよう福山市をはじめ関係機関と協力し、地域農業の振興に取り組んでまいります。

最後は校庭に5年生全員が集まり撮影しました。ちょうど太陽が雲から顔を出し、みんなの笑顔がきれいに撮れました。みんなで元気一杯大きな声で「100周年まであと163日！」と撮影して終了しました。

放送は、広島テレビで平成28年1月20日（水）午後6時55分からです。



新涯小学校5年生は、一年を通じて、地域の特産物である「くわい」についての学習に取り組んでおられ、出前授業やくわい農家のほ場での植付け体験、校庭のミニ田んぼで栽培、ほ場の収穫見学、校庭の「くわい」の収穫、くわい料理を作る調理実習を取材してまいりました。

水土里ネット福山では、福山市の特産物である「くわい」を広く一般の市民のみなさまに知ってもらうため、水土里レポートを発信してまいります。また、子ども達が、ふる里の食物にふれ、ふる里が大切なものとなるよう、これからも21世紀土地改良区創造運動に取り組んでまいります。